

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34104	情報サービス論 Introduction to Information Services	江良友子	✓	専門	2	選択	1、2前期

科目の概要

高度情報社会の中で図書館が情報サービスを提供することの意義を歴史的な状況をふまえて学修する（基礎知識の獲得）。図書館で行われている情報サービスの内容と方法について、参考図書、データベース等の情報源の特性、サービスの類型、図書館利用教育などについて発展的に学修する（基礎知識の活用・応用）。情報サービスを行う際、真心・努力・奉仕・感謝の精神をもって人と接することが大切であることを事例紹介から学び、併せて社会人基礎力の育成についても力を入れていく。
★教員の図書館司書として勤務した経験から、実際の現場の状況を伝え、問題点を学生とともに考え、解決策を探り共有していく。学生が図書館を利用する中で感じたこと、考えたことを大切にしながら授業を進める。

学修内容	到達目標
① 情報サービスの歴史と現状について理解する。 ② 情報サービスの種類と特徴を理解する。 ③ レファレンスサービスについて知る。 ④ 各種情報源の特質と利用法を知る。 ⑤ 図書館利用教育について知る。	① 情報サービスの発生と展開、日本への導入、現状について説明することができる。 ② 図書館における情報サービスの種類と特徴を述べるができる。 ③ 図書館のレファレンスサービスを利用することができる。 ④ 様々な分野のレファレンスブックの特徴と使用法を比較することができる。 ⑤ 図書館利用教育・情報リテラシー能力育成の方法を説明することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	情報サービスについて理解を深めるために、自ら進んで図書館へ足を運ぶことができる。
	働きかけ力	
	実行力	決められた期日までに手順や方法を考えてレポート作成ができる。
考え抜く力	課題発見力	毎日、新聞を読み、社会の流れを把握できる。
	計画力	
	創造力	様々なレファレンスブックを知ることができる
チームで働く力	発信力	聞く人に合わせて、わかりやすい発表ができる。
	傾聴力	傾きながら話を聞くなど、人が話をしやすい環境をつくることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「図書館情報学基礎資料」 2019年 今まど子・小山憲司 編著、樹村房 1,100円（税込）
講義用レジュメおよび追加資料を配付する。
必要に応じて教材として視聴覚資料を使用する。
参考文献：授業の中で紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：図書館に関する科目全て、特に情報サービス演習Ⅰ・Ⅱ
資格との関連：図書館司書

学修上の助言	受講生とのルール
日頃から図書館や書店に足を運ぶこと。 授業の中で1週間のトピックを質問するので、毎日、新聞に目を通すこと。	6回以上の欠席は0（放棄）判定となる。 欠席した場合は、次回授業日前までに欠席分の配布資料を取りに来ること。 欠席した場合でも課題提出は必須である。必ず指定された期限までに提出すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	90	①	✓	評価のポイント ①図書館における情報サービスの意義について書くことができる。 ②情報サービスの歴史を理解している。 ③情報サービスの種類を理解している。 ④大学図書館で論文を書くための支援方法を理解している。 ⑤情報サービスに必要な人的・物的資源を理解している。 ⑥レファレンスプロセスを理解している。 ⑦情報検索のしくみを理解している。 ⑧情報検索に使用する論理演算子を理解している。 ⑨基本的なレファレンス・ブックを知っている。 ⑩ネットワーク上の情報源の特質を理解している。 ⑪代表的な情報発信型サービスを知っている。 ⑫情報サービスの課題について考察することができる。 ⑬図書館利用教育がどのようなものか、書くことができる。 ⑭授業内で出てきた専門用語の意味を書くことができる。 ⑮各回の授業で学んだことをふまえ、自分で調べたことなどを含めて情報サービスについて発展的事項が記述できる。 ※①～⑪、⑬は基礎知識の獲得を問う内容、⑫、⑭は基礎知識の活用を問う内容、⑮は基礎知識の応用を問うものである。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性） ・図書館のレファレンスサービスを自主的に利用できる。 （実行力） ・期日までに課題を提出することができる。 （課題発見力） ・毎日、新聞を読み、授業の中で発表できる。 （創造力） ・レファレンスブックの解題を作成できる。 （発信力） ・1週間の新聞記事からトピックを選択し、ポイントを絞ってわかりやすい発表ができる。 （傾聴力） ・おしゃべりや携帯電話の使用、よそごとをしないなど、相手が話をしやすい環境を作ることができる。 （規律性） ・遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（秀）評価 筆記試験の評価ポイントに記載されている事項について理解し、9割以上回答できている。 社会人基礎力にある学修態度が9割以上達成できている。 A（優）評価 筆記試験の評価ポイントに記載されている事項について理解し、8割以上回答できている。 社会人基礎力にある学修態度が8割以上達成できている。	B（良）評価 筆記試験の評価ポイントに記載されている事項について概ね理解し、7割以上回答できている。 社会人基礎力にある学修態度が7割以上達成できている。 C（可）評価 筆記試験の評価ポイントに記載されている事項について6割以上回答できている。 社会人基礎力にある学修態度が6割以上達成できている。 或いは、達成には至らないが努力できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 図書館における情報サービスとはどのようなものかを知り、その意義を学ぶ。 (基礎知識の獲得) ビデオ:「レファレンスサービス」	講義 質疑応答 ビデオ視聴	情報サービスの概要を知ることができる。	(第1回予習) レファレンスサービスとは何かについて調べ、1分程度で発表できるようにノートにまとめる。 (復習) ビデオ「レファレンスサービス」を観て、学んだことについて用紙にまとめる。 (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
2	情報サービスの歴史と現状 情報サービスの発生と展開、日本への導入と現状について学ぶ。 (基礎知識の獲得) DVD:『映像でみる戦後日本図書館のあゆみ』	講義 質疑応答 新聞記事についての発表とフィードバック DVD視聴	情報サービスの歴史について知ることができる。	(復習) 情報サービスの歴史について授業で配布したレジュメと自分で調べたことをノートにまとめる。 (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	情報サービスの実際 1 様々な情報サービスについて学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 新聞記事についての発表とフィードバック	情報サービスの種類と内容を理解できている。	(復習) 情報サービスの種類と内容について授業で配布したレジュメと自分で調べたことをノートにまとめる。 (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	情報サービスの実際 2 専門的な情報サービスの在り方について学ぶ。 (基礎知識の獲得・活用) ビデオ:「論文のまとめかた」	講義 質疑応答 新聞記事についての発表とフィードバック ビデオ視聴	専門的な情報サービスとは何かを知り、その在り方を理解できている。	(復習) 専門的な情報サービスの種類と内容について授業で配布したレジュメと自分で調べたことをノートにまとめる。 (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	デジタル環境下での情報サービス インターネット社会における情報サービスについて学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 新聞記事についての発表とフィードバック	インターネット社会での情報サービスの特徴を知ることができる。	(復習) デジタル環境下でのレファレンスサービスについて授業で配布したレジュメと自分で調べたことをノートにまとめる。 (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	情報サービスの管理 情報サービスの人的資源と物的資源について学ぶ。 (基礎知識の獲得・活用)	講義 質疑応答 新聞記事についての発表とフィードバック	情報サービス資源の種類を知り、述べることができる。	(復習) 情報サービスの管理について授業で配布したレジュメと自分で調べたことをノートにまとめる。 (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	情報源の整備 情報サービスのための情報源の整備について学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 新聞記事についての発表とフィードバック	情報サービスのための情報源整備の重要性を理解できている。	(復習) 情報源整備について授業で配布したレジュメと自分で調べたことをノートにまとめる。 (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	レファレンスサービスの理論と実際 1 情報探索行動とレファレンスプロセスを学ぶ。 (基礎知識の獲得・活用)	講義 質疑応答 新聞記事についての発表とフィードバック	情報探索行動とは何か、レファレンスプロセスの流れを理解できている。	(復習) 情報探索の方法4つとそれらの特徴についてまとめる。 (予習) 公共図書館でレファレンスサービスを受けるための準備(質問準備) (予習その他) 新聞を読む:1週間	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	レファレンスサービスの理論と実際 2 情報の検索と回答の仕方について学ぶ。 (基礎知識の活用・応用)	講義 質疑応答 新聞記事についての発表とフィードバック	情報の検索と回答方法について理解できている。	(復習) 第9回プリント事例1~3の空欄を埋める (予習) 公共図書館でレファレンスサービスを受けてみる。 (予習その他) 新聞を読む：1週間	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	レファレンスサービスの理論と実際 3 情報検索の仕組みを学ぶ。 (基礎知識の活用・応用)	講義 新聞記事についての発表とフィードバック	情報検索の仕組みを理解できている。	(予習) 公共図書館で受けたレファレンスサービスからレファレンス手法を考え、各プロセスで重要だと思う点を1点以上上げる。 (予習その他) 新聞を読む：1週間	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	各種情報源の特質と利用法 1 レファレンス・ブックの特質と利用法を学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 新聞記事についての発表とフィードバック	様々な分野のレファレンスブックの特質と利用方法を知ることができる。	(復習) 授業で取り上げたレファレンス・ブックを図書館で確認し、特徴をノートにまとめる。 (予習その他) 新聞を読む：1週間	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	各種情報源の特質と利用法 2 様々な分野のレファレンスブックの特質と利用法を学ぶ。 (基礎知識の活用・応用)	講義 質疑応答 新聞記事についての発表とフィードバック	様々な分野のレファレンス・ブックの特質と利用方法を知ることができる。	(復習) 授業で取り上げたレファレンス・ブックを図書館で確認し、特徴をノートにまとめる。 (予習その他) 新聞を読む：1週間	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	各種情報源の特質と利用法 3 ネットワーク上の情報源の特質と利用法を学ぶ。 (基礎知識の活用・応用)	講義 質疑応答 新聞記事についての発表とフィードバック	ネットワーク上の情報源の特質と利用方法を知ることができる。	(復習) 授業で取り上げたネットワーク上の情報源をネット上で確認し、特徴をノートにまとめる (予習その他) 新聞を読む：1週間	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	発信型情報サービスの意義と方法 パスファインダーなどの新しい発信型情報サービスの意義と方法を学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 新聞記事についての発表とフィードバック	発信型情報サービスの種類を知り、意義とその方法を述べることができる。	(復習) 発信型情報サービスとはどういうものか特徴をノートにまとめる。 (予習その他) 新聞を読む：1週間	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	図書館利用教育 図書館利用教育と情報リテラシーについて学ぶ。 (基礎知識の獲得・活用・応用)	講義 質疑応答 新聞記事についての発表とフィードバック	図書館利用教育の種類を知り、情報リテラシー教育の重要性を理解できている。	(復習) 図書館利用教育とはどういうものか特徴をノートにまとめる。 情報サービスを今後も図書館サービスの柱としていくために必要なことを3点あげ、其々の理由を記入する。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力